

# 家庭科学習指導案

平成28年11月15日  
展開学級：第5学年  
市教研家庭科部会

## 1 題材名 寒い季節を快適に

### 2 題材について

本題材は、C「快適な衣服と住まい」の(1)ア「衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること」(2)イ「季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること」を受け設定した。

日本は四季の変化が豊かなことから、年間を通して快適な生活を送るためには、寒さや暑さへの対処の仕方などを工夫する必要がある。本題材では、あたたかい着方や住まいの換気・採光の必要性などについて考え、より快適な住まい方に関心をもって工夫できるようになることをねらいとしている。

「快適」といってもその捉え方は人によって様々である。衣服では寒さや暑さを調節するだけでなく、吸水性や肌触り、伸縮性や動きやすさなどの要素がある。住まいでは、明るさや風通し、断熱や防音などの要素がある。ここでは「寒い季節をあたたかく、気持ちよく過ごす」ことを「冬の快適」と捉え、扱っていく。その際に、環境に配慮した生活という視点からも、衣服の着方の工夫や日光の効果的な活用、適切な換気などについて考えさせる。暖房機器や人工照明を否定するのではなく、利用を少なくする工夫や効果的な使用について考えることで、実際の生活に生かせるようにしていきたい。

全国小学校家庭科教育研究会が平成27年度に行った全国調査の結果によると、5・6年生ともに「家庭科の時間に学んだことはできるようになった」とどの項目(包丁を使う、ミシンを使う等)でも感じているが、「家庭での実践をどのくらいしているか」となると項目によってかなり差がある。本校の児童も同様の結果である。

そこで指導にあたっては、事前に各家庭での工夫を調べ、それらをもとに寒い季節を快適に過ごすための着方や住まい方について話し合い、実験や調査を通して理解するための学習計画を立てる。具体的には、着方については冬服と夏服を比較したり保温性の実験をしたりすることで、それぞれの服の特徴の違いや、重ね着をするといったあたたかい着方について気付かせたい。住まいについては、日なたと日かげの室温の違いや、教室の明るさ調べなどを通して、日光の大切さ、採光や照明の方法について理解させたい。体験を通して学ぶことで理解が深まり、実践につながるだろうと考える。

また、各家庭での防寒に関する工夫を調べることで、家族が工夫して快適な環境をつくってくれていることに気づき、家族の思いを感じ取る児童もいるであろう。本題材を通して、家族と協力して家庭生活をよりよくしようとする態度も育んでいきたい。

### 3 児童の実態(男子17名 女子17名)

#### (1) 冬は好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
12	15	6	1

#### (2) それは、なぜですか。

〈好き・どちらかといえば好きな理由〉(人数)

- 雪で遊べるから。(7)
- 寒いけど、雪が降って楽しい、きれいだから。(4)
- 寒さに耐えられるし、楽しい。(4)
- 虫が少ないから。(1)
- クリスマスやお正月があるから。(1)
- 誕生日だから。(1)

- 冬は寒くて涼しくなるから。 (1)
- 寒いのが好き。 (1)
- ウインタースポーツが好きで夏が嫌いだから。 (1)
- 夏の暑さは対処しづらいが、冬の寒さは対処できるから。 (3)
- 生き物のいろいろな変化が見られるから。 (1)
- 鍋料理が一番美味しい季節だから。 (1)
- 雪が綺麗だけど寒いから。 (1)

〈どちらかといえば嫌い・嫌いな理由〉

- 寒いから。 (4)
- 風邪をひくから。 (2)
- 自分が寒がりだから。 (1)

(3) 着る服をだれが選んでいますか。

いつも自分	大体自分でたまに家の人	大体家の人でたまに自分	いつも家の人
2 2	5	6	1

(4) 寒いときに、あなたは、上半身何まい着ますか。

1まい	2まい	3まい	4まい	5まい
1	4	2 3	2	4

(5) 寒いとき、あなたの着ているものは何ですか。ふきだしから選んで書きましょう。(人数)

枚数	人数	着ているもの
1枚	1人 計1人	半袖Tシャツ
2枚	2人 1人 1人 計4人	半袖+ジャンパー 長袖シャツ+上着 下着+トレーナー
3枚	1 4人 4人 1人 1人 1人 1人 1人 計23人	下着+長袖シャツ+上着 下着+長袖シャツ+トレーナー 下着+トレーナー+上着 下着+長袖シャツ+ジャージ 下着+長袖ジャージ+上着 下着+セーター+上着 ブラウス+セーター+トレーナー
4枚	2人 計2人	下着+長袖シャツ+上着を2枚
5枚	2人 1人 1人 計4人	下着+長袖シャツ+トレーナー+上着+上着 下着+長袖シャツ+タートルネック+上着+上着 下着+半袖シャツ+長袖シャツ+上着+上着

(6) 寒い時、あなたはどことなくふうをしていますか。(複数回答可)

厚着になる・ 上着を着る	あたたかい 寝具にかえる	エアコンを つける	ストーブを つける	温かいものを 飲む・食べる	床暖房やホット カーペットを 利用する
22	21	20	20	19	16
ひざ掛けをする	窓を閉める	日なたに行く	お風呂に入る	カイロを身に 付ける	帽子やマフラー をつける
16	15	8	7	6	5

その他(こたつに入る、ゆたんぽを使う、ふとんをかぶる等)

(7) 寒いとき、あなたや家の人はどことなくふうをしていますか。(人数)

- 〈着方の工夫〉 厚着をする。(6)  
 タートルネックを着ている。(3)  
 上着を着る。(2)  
 (以下一人ずつ)  
 ネックウォーマーをしている。  
 シャツを着て首まで寒くないようにしている。  
 シャツを着ている。  
 靴下を二重履きしている。  
 下着を着る。  
 長袖シャツに長袖を着ている。  
 フリースを着る。  
 内側に毛のようなものがついている衣服を着る。

- 〈住まい方の工夫〉 エアコンをつける。(12)  
 ストーブをつけている。(9)  
 ホットカーペットをつける。(7)  
 床暖房をつけている。(7)  
 こたつを利用している。(2)  
 寒いときは、ブランケットをはおる。(2)  
 リビングに毛布を2つ置いておく。(1)  
 ゆたんぽを使う。(1)  
 外の空気が入らないように窓の前に何か置いている。(1)

(8) 換気という言葉を知っていますか。

意味も知っている	意味はわからないが聞いたことはある	知らない
19	14	1

(9) 採光という言葉を知っていますか。

意味も知っている	意味はわからないが聞いたことはある	知らない
1	6	27

(10) 季節や気温に合わせて衣服の調節ができていますか。

よくできる	わりとできる	あまりできない	全くできない
16	11	5	2

(1 1) 服を選ぶときに考えていること優先順位を一番目から三番目まで優先順位をつけて選びましょう。  
(選択項目) 色、形、柄、ブランド、肌触り、着心地、服のあつみ、なんとなく、親が選んでいる

①一番目に考えること

色	服の厚み	親	着心地	形	肌触り	なんとなく	柄
8	8	5	4	3	2	2	1

その他 1名 (気温によって考える。)

②二番目に考えること

柄	色	着心地	肌触り	服の厚み	形	なんとなく	親
8	6	5	4	3	3	2	2

その他 1名 (天気を見て考える。)

③三番目に考えること

着心地	柄	形	ブランド	色	なんとなく	親	肌触り
7	7	6	4	3	3	3	1

(1 2) 寒い季節を快適に過ごす学習で、知りたいことや学びたいことはありますか。(着方・住まい方について)

着方・・・外出時に厚着以外の方法であたたまる方法を知りたい。(2)  
寒いときにどのような服を着るとあたたかくなるのか。(2)  
衣住食の工夫による体温の変化  
少しでもあたたかくなる方法  
上着をよりあたたかく着る方法

住まい方・・・ストーブやホットカーペットを使わず部屋の中をあたたかくする方法 (2)  
家の中をあたためる方法  
体がすぐにあたたまる方法  
窓やドアは閉めた方がいいかどうか。  
省エネであたたかくする方法  
エアコンとストーブどちらがあたたかいかわかりたい  
エアコンなどでどこから風をあたためた方がいいのか  
どんな過ごし方が一番あたたかく、快適に過ごせるのか。  
暖房器具を使っても寒いので、家をあたたかくする方法

冬を好んでいる児童が全体的に多いが、あまり好きではない児童は、寒いから好きではないとあげる子が多い。寒い時の工夫を衣・食・住別に調べると、衣や住の工夫が多いことがわかった。衣服の着方で工夫していると回答した児童は約3/5いるが、内容を見ると、単に厚い上着を着ればよいと思っていたり、機能性下着を着ていれば少ない枚数でもあたたかくなると思っていたりする。普通の児童の様子ではあたたかい室内でダウンジャケットを着たままでいたり、半袖にジャンパーを着ていたりしており、外気温によって衣服を調節することや、肌に触れる衣服の働きなどについて関心が少ない児童がいる。約2/5の児童は何も工夫していないと回答しており、快適な着方について自分で考えて行っている児童は多くはないと言える。

また、どんな観点で服を選んでいるか調べると、色、柄、形が上位に入っていることがわかった。着心地や肌触りについて考えて服を選んでいる児童は多くはない。また、親が選んでいたりと、なんとなくあるものを着ていたりする児童もいるので、気候や季節に適した快適な服装を自分で考えられるようにしたい。

住まい方では、エアコンとストーブを使っている児童が半数だった。あたたかい敷物の利用も1/3ほどあり、少数ながら日なた、湯たんぽなど暖房機器を利用せずあたためる方法を回答している児童もいる。それらの工夫について気付かせ、活用できるようにしたい。

本学校は、委員会の活動などで冬の休み時間に換気調べを行っているが、実態をみると意味を理解していない児童も多く見られる。採光という言葉聞いたことのない児童がほとんどであったので、換気や採光についての意味もおさえたい。

このような実態をふまえ、衣服については夏服との違い（開口部の形であたたかさが違ってくること）や、重ね着をすることで空気の層が熱を保ちあたたかくなること、住まいについては室内のあたたかさを逃さない工夫や日光を効果的に取りこむことなどを、体験を通して理解させ、普段の生活をふり返ることができるようにしたい。学習後は自分の家で取り組めることを考え、実践することで、生活をよりよくしようとする態度を身に付けさせたい。

#### 4 視点との関連

##### (1)確かな学力をはぐくむ学習の工夫

本学級の児童の実態を踏まえて、本題材ではあたたかい着方や住まい方を自分なりに工夫し、実際の生活に生かすことができるようにしたいと考えた。

そこで、あたたかい着方については実験を取り入れ、数値や体感を通して実感を伴った理解ができるように指導計画を工夫した。まず、体感させる実験として、首元があいている服や詰まっている服、上着の前のファスナーを開けた服や閉めた服を着て扇風機の前に立ち、違いを実感することで、あたたかい着方を考えさせる。しかし、体感には個人差がある。そこで、もう一つの実験として湯の入ったビーカーをいくつか用意して、何も巻かないもの、布（服）を1枚巻いたもの、2枚巻いたものなどを作って放置し、温度の下がり具合を調べる。その結果、数値というはっきりした根拠をもとに、あたたかい着方の工夫を考えさせ、実際の生活に生かせるようにしていきたい。

住まい方の学習でも、明るさやあたたかさなど、体感することや実感することを大切にしながら学習を進めていく。

本時では、イメージしやすいように服の写真を用いて児童自身が寒い日の服装を選択する。その後友達と話し合うことで、新たな工夫や考え方に気付かせ、実践につなげさせたい。

##### (2)自己の成長を実感できる評価の工夫

学習前に実態調査をすることで、教師が実態を把握するだけでなく児童自身にも現在の自分の状況を認識させる。学習後にはワークシートに「今まで」と「これから心がけたいこと、実践していくこと」などを記述させることで、児童にも学習を通しての自分の変容や成長が把握できるようにする。

ワークシートは1枚で関心・意欲・態度、創意工夫する能力、知識・理解の観点で評価できるように作成する。

また、日常の実践の後は実践発表会をし、学級内で共有させる。その際はレポートの作成や発表、友達との相互評価といった活動も評価し、児童自身が「よくなった」「できるようになった」などの実感がもてるようにしていきたい。

#### 5 題材の目標

- 寒い季節の衣服の着方や住まい方に関心を持ち、冬をあたたかく快適に過ごすための着方をしたり、住まい方について考えたりしようとしている。（関心・意欲・態度）
- あたたかく過ごすための着方やあたたかく明るい住まい方について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりする。（創意工夫）
- 衣服の働きやあたたかい着方、明るくあたたかい住まい方や換気について理解する。  
(知識・理解)

#### 6 指導計画

小題材	主な学習内容	時配
	・寒い季節に家で行っている工夫について調べる。	課外

あたたかい着方をくふうしよう	・家庭で調べてきたことをもとに、寒い季節を快適に過ごすための着方や住まい方について考え、話し合い、課題を見付ける。	1
	・衣服の形や布の違いであたたかさがどのように異なるか実験して調べる。	1
	・調べた結果からわかったことを共有し、衣服のはたらきやあたたかい着方について理解するとともに、日常の実践に向けて課題をもつ。	1 (本時)
あたたかく明るい住まい方をくふうしよう	・校内のあたたかさや明るさなど自分の課題について調べ、わかったことを整理する。	1
	・調べたことを発表して共有し、環境を考えた、あたたかく明るい住まい方をまとめ、家庭での実践に向けて課題をもつ。	1
学んだことを実践し、発表会をしよう	・学んだことを家庭などで実践する。	課外
	・実践発表会をして、自分の家庭で生かせることを考えたり、自然を生かした生活について話し合ったりする。	1

## 7 指導と評価の計画

時間	【小題材】 ねらい・学習活動	評価規準・評価方法			
		家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
課外	○冬をあたたかく快適に過ごすための着方や住まい方について関心をもつことができる。 ・寒い季節に家で行っている工夫について調べる。				
1	【あたたかい着方をくふうしよう】 ○家の中であたたかく過ごすための着方や住まい方について関心をもって話し合い、学習の見通しをもつことができる。 ・家庭で調べてきたことをもとに話し合い、課題を見付ける。	寒い季節を快適に過ごすための暮らし方に関心をもっている。 ・ワークシートの記述 ・行動観察			
2	○着方に関する課題について、進んで調べたり考えたりしようとしている。 ・衣服の形や布の違い（保温性、通気性）であたたかさがどのように異なるか実験して調べる。	寒い季節を快適に過ごすための着方について関心をもち、進んで調べたり考えたりしようとしている。 ・行動観察 ・ワークシートの記述			

3 (本時)	<p>○冬をあたたかく快適に過ごすための着方について理解し、実践に向けて自分の課題をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えた着方を発表して班で工夫を共有し、衣服のはたらきやあたたかい着方について理解するとともに、日常の実践に向けて課題をもつ。</li> </ul>		<p>着方について課題を見付け、日常着の着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述</li> </ul>		<p>あたたかく過ごすための着方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述</li> <li>・ペーパーテスト (後日)</li> </ul>
4	<p><b>【あたたかく明るい住まい方をくふうしよう】</b></p> <p>○住まい方に関する課題について、進んで調べたり考えたりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内のあたたかさや明るさなど自分の課題について調べ、わかったことを整理する。</li> </ul>	<p>寒い季節を快適に過ごすための住まい方について関心をもち、進んで調べたり考えたりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシートの記述</li> </ul>			
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを発表して共有し、環境を考えた、あたたかく明るい住まい方をまとめ、家庭での実践に向けて課題をもつ。</li> </ul>		<p>住まい方について課題を見付け、自分なりにあたたかく快適に過ごすための住まい方について考えたり、工夫したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述</li> </ul>		<p>冬をあたたかく快適に過ごすための対処の仕方や換気、採光の仕方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記述</li> <li>・ペーパーテスト (後日)</li> </ul>
課外	<p><b>【学んだことを実践し、発表会をしよう】</b></p> <p>○学んだことをもとに、冬をあたたかく快適に過ごす住まい方について自分なりに考えたり、工夫したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを家庭などで実践する。</li> </ul>				
6	<p>○実践報告会を通して友達の工夫に気付いたり、自然を生かした生活の大切さについて理解したりする。</p>	<p>冬をあたたかく快適に過ごすための着方をしたり、住まい方について考えたりしようとしている。</p>	<p>冬をあたたかく快適に過ごすために自分なりに工夫して考えたり、工夫したりしている。</p>		<p>自然を生かした生活の大切さを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>

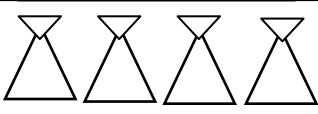
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践発表会をして、自分の家庭で生かせるや、自然を生かした生活について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践記録カード</li> <li>友達の実践から自分の生活に生かせそうなことを考えている。</li> <li>ワークシートの記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践記録カード</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>の記述</li> <li>ペーパーテスト（後日）</li> </ul>
--	--	--	---	--	--

## 8 本時の指導

### (1) 本時の目標

- 着方について課題を見付け、日常着の快適な着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創意工夫)
- あたたかく過ごすための着方について理解している。(知識・理解)

### (2) 本時の展開 (3/6)

時配	学習活動と内容	教師の指導と支援 (○指導・留意点 ◆評価)	資料等
5	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扇風機の実験では、首元がある服の方がない服より風を感じた。</li> <li>生地が厚い服1枚とうすい生地2枚では、温度の変化が同じだった。</li> <li>首がつまっている服とあいてる服では、つまっている服があたたかかった。</li> </ul>	<p>○前時までの掲示物や実験をもとに、着方の工夫に目を向けていけるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>三角フラスコの実験</p>  <p>ア イ ウ エ</p> <p>ア・・・何もつけない イ・・・あついセーター1枚 ウ・・・うすい生地の服2枚 エ・・・うすいシャツにうすいセーター</p> <p>お湯を入れた三角フラスコに上記の服を巻き、温度の変化を調べた。その結果、保温性が高かったのは、イ＝エ&gt;ウ&gt;アの順となった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>扇風機の実験</p> <p>チャックを閉めたり開けたりして風に当たる。重ね着をして風に当たる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>外の寒さを体感する実験</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>首元がある服、ない服を着たり、重ね着をしたりして外に出る。</p> </div>	<p>実験結果をまとめた模造紙・写真</p>
<p>寒い季節をあたたかく快適に過ごすために、どのような着方をすればよいだろうか。</p>			
15	<p>2 12月の末、気温6度の寒い日に、学校で過ごす服装を写真から選んでワークシートに貼ったり、絵や言葉で表したりする。</p>	<p>○写真から選ぶ場合には切つてのりで貼り、写真にない場合には絵や言葉で表してもよいことを伝える。</p> <p>○持ってきた服を触って確認してもよいことを伝える。</p> <p>○選んだ理由を書かせる際には前時の実験を想起させる。</p> <p>○選ぶのに迷っている児童には、実物を見せたり、前時のワークシートを振り返らせたりし、個別に支援する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>服の写真</p> <p>実物の服のり</p> <p>はさみ</p>
10	<p>3 自分が選んだ服を班で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験で、襟がつまっているものが</li> </ul>	<p>○友達の考えで「なるほどと思ったこと」「同じ考え」「はじめて知ったこと」をワークシートのメモに書いたり、自分の考えに付けたしたりするように</p>	



<p>8</p>	<p>あたたかかったから、襟付きの服を選んだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薄いものを重ねて着た方が温度の調節ができるから重ね着をしたよ。</li> <li>・〇〇さんの選んだ服は手首まで閉じていてあたたかそうで、なるほど、と思った。</li> </ul> <p>4 班で話した内容を学級全体に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちの班は、下着、長そでのシャツ、トレーナーと、重ね着を選んだ人が多かったです。</li> <li>・〇〇班も、重ね着をしている人が多くて、自分たちの班と同じでした。</li> <li>・首や手首が閉じているものを選んでいる班が多いから、やはりそうした方があたたかいんだな。</li> </ul> <p>5 児童から出た考えをもとに「あたたかく快適な着方」についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首や手首が閉じているような服を着る。</li> <li>・重ね着をする。</li> </ul>	<p>助言する。</p> <p>○友達工夫していたこと、自分と共通していた考え、発見したことを発表させる。</p> <p>○友達工夫していたこと、自分と共通していた考え、発見したことを発表させる。</p> <p>○下着の役割について話す。</p> <p>○日常に生かせるようなまとめをする。</p>	
<p>あたたかく過ごすためには、重ね着をしたり、首まであるものを着たりするとよい。</p>			
<p>7</p>	<p>6 寒い季節の自分の着方を振り返り、今後実践できることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで自分は首がある服は着たことがなかったけれど、実験したり今日話し合ったりしてあたたかいことがわかったので、これからは着てみようかなと思いました。</li> <li>・今までは下着を着ていなくて、トレーナーの上にダウンだけだった。下着を着るとちがうことがわかったので、これからは着る。</li> <li>・今までお母さんがいろいろ着せてめんどくさいと思っていたけど、重ねて着ると調節できるし、あたたかいことがわかった。これからも考えて服を着たい。</li> </ul>	<p>○これから実践できそうなことが書けるように助言する。</p> <p>○日常の場面（外出や運動のときなど）によって着る服も変わることを話す。</p> <p>◆あたたかく過ごすための着方や生活場面に応じた着方について理解している。（知識・理解）</p> <p>◆着方について課題を見付け、日常着の快適な着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。（創意工夫）</p> <p>○日常に生かせるように声を掛け、今後の学習で一週間実践し、記録して発表することを話す。</p>	